

(19番 小暮議員登壇)

○19番(小暮博志) 政友みらいを代表しまして、今後の市政運営について、施政方針を表明されました内容に関し、質疑をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

前期の令和2年度の一般会計予算は、当初予算の485億5,000万円から、補正予算第18号で669億7,800万円ほどとなり、184億円、38%ほど増加した状況にあり、異常な年度となっております。これも、現在も続く新型コロナウイルス感染症対策として1人につき10万円が支払われた給付金等や、令和元年東日本台風、台風19号被害関係によるものが大きく影響していました。新型コロナウイルス感染症は第4波が続いており、緊急事態宣言が東京、北海道、大阪、京都ほか6県に発出されている状況であります。このような非常事態での重責の新市長であり、市民の期待も大きなものとなっております。

市長は、28歳の若さで市議会議員になられ、市議会議員を4期16年務められた後、県議会議員を4期の当選をなされました。その間いろいろな経験をし、学び、今回新佐野市の第2代市長になられました。今後20年、30年先を見据えた佐野市の仕組みづくりを進める考えをお持ちとのことであり、改めてお祝いを申し上げるとともに、ご期待を申し上げるところでございます。

それでは、質疑に入らせていただきます。市長が政治家としての一步を踏み出した平成3年のとき、尊敬する先輩から佐野市を変えてみろと言われ、心を大きく動かされ、立候補を決意するに至った。そして、30年たった今でも全く薄れていないと述べられております。月日がたっても、その時々には課題は必ずあると思うところであります。佐野市を変えてみろと言われた心はどのような思いであったか、お聞かせいただきたいと思っております。

次に、市長が示されている「進化する佐野市」、「選ばれる佐野市」をまちづくりの基本理念とし、市長への立候補に際し、2つの重点政策と5つの政策を柱として公約に掲げ、そして所信表明において述べられている内容について、以下質疑させていただきます。

重点政策の1点目に、新型コロナウイルス感染症への対策強化を示され、感染症対策における最優先事項としてワクチン接種を示し、「オール佐野市で、いまだ経験のないこの難事業を成し遂げ、市民の皆様の安全・安心を確保してまいります」と述べております。今後全体の70%、約8万人近くを占める65歳未満の生産年齢及び年少人口の接種は市民の大部分を占め、これから残されております。今後において、効率よく短期に接種を進めることは、コロナウイルス感染症の早期収束に大変重要なことと考えていますが、対応のお考えをお聞きいたします。

重点政策の2点目に、令和元年東日本台風における被害の復旧・復興の加速化を示され、佐野市は令和元年東日本台風により突然かつて経験したことのない甚大な被害に見舞われ、市長は一夜にして変わり果てた景色に驚愕し、無力感を感じたと述べております。この台風では、今までに経験したことのない410ミリほどの大雨が葛生地区に降ったことが大きな原因であり、そのような大雨も想定外であったことも原因と思うところであります。今後地球温暖化はより進むと思われております。今回以上の大雨に対しても、被害を少なくするための方策を進めていく必要を痛感するところであります。

そこで、市長の思われる20年後、30年後を見据えた施策が大切と思うところであります。市長は、これまでの想定外とされてきた不測の事態を、これからは全て想定内のものとして解決していかなければなりません。「それは「人とのつながり」を市政運営の全ての根本に置くということでございます」と述べております。この点についてお考えをお聞きいたします。

次に、20年、30年先を見据えた佐野市の仕組みづくりを進めるために掲げた5つの政策のテーマの中の内容について質疑させていただきます。まず、1つ目のテーマの「未来」の中で、人生100年時代を見据え、シニア世代の方々の

地域デビューを応援してまいりたいと考えていますとあります。長寿時代になり、地域デビューする機会が増えることはとてもありがたく、期待するところでもあります。65歳以上で75歳未満人口は約1万5,000人いる中で、地域デビューにどれくらいの人を取り込もうと考えておられるのか、お聞きいたします。

2つ目のテーマの「ひと」の中で、保育料や医療費など子育てに必要な経済的負担の軽減を図ることにより、こどもの街宣言にふさわしい、子育てがしやすい環境を整備してまいりますとあります。今後高齢化比率が増加し、労働人口が減少する中、健康な社会を目指し、医療費の負担軽減を推進していくことがますます重要になると考えます。子育てに必要な経済的負担の軽減を図るために、医療費の長期的な低減施策についてのお考えをお聞きいたします。

3つ目のテーマの「まち」の中で、「人とのつながり」で希望のまち・佐野市をつくり出す中で、新たなスマートシティの研究を示されました。佐野市の新たなスマートシティとは、どのような形のイメージを考えておられるのか、お聞きいたします。

4つ目のテーマは、「安心」の中で、市民の皆様に健康で長生きしていただけるための「人とのつながり」で、佐野市に心の安心をつくり出してまいりますとあります。具体的には、健康長寿佐野市づくり推進条例の制定がありますが、県内でも健康寿命の短い佐野市におきまして、健康寿命が延びるような動きを、20年先を見据えて進めてほしいと思うところですが、お考えをお聞きいたします。

5つ目のテーマは、「産業」の中で商工業、農林業の振興、雇用の創出、地産地消、循環型社会の構築などを推進し、「人とのつながり」で佐野市に挑戦する産業をつくり出してまいりますとあります。地産地消の中の公約で、農産物、林産物の地産地消を進めてまいりますとありますが、地産地消を進めていく中で、農産物や林産物の地産地消を進めることが経済の活性化に大きくつながるものと考えますが、お考えをお聞きいたします。

最後になりますが、新市長が示されている市民の皆様一人一人の幸せのため、そして佐野市の発展のため、誰もが夢を描きかなえることができる未来を実現し、「進化する佐野市」、「選ばれる佐野市」が作り上がることを期待し、政友みらいの施政方針に対する質疑といたします。

○議長（山菅直己） 市長に答弁を求めます。

市長。

（市長 登壇）

○市長（金子 裕） 小暮博志議員の施政方針質疑にお答えいたします。

初めに、佐野市を変えてみると言われたときの思いにつきましては、私にそのようなことができるのだろうか、諮問し、葛藤し、また不安もございました。しかし、私を励ましてくださった多くの方のご期待に応え、市民の皆さんのために、佐野市の発展のために、あらゆることに挑戦しようと覚悟を決めたのであります。あの日の誓いを忘れることなく、全身全霊で市政運営に当たってまいらる決意であります。

次に、65歳未満のワクチンの接種の対応につきましては、ワクチン接種を希望される方へ安全かつ迅速に接種が進められ、全世代へのワクチン接種が早期に完了できるよう、佐野市医師会を始めとした医療関係者の皆様と引き続き協議を行ってまいります。なお、佐野市（後に県と訂正）が設置する大規模接種会場における接種の有効活用を図るほか、今後の予約状況、接種状況により、新たな接種会場の開設を検討してまいります。

次に、「人とのつながり」を市政運営の全ての根本に置く考えにつきましては、私が30年の政治活動を通して最も重要と考えているものが「人とのつながり」であります。私が培った「人とのつながり」だけではなく、職員それぞれの「人とのつながり」、市民の皆様一人一人の「人とのつながり」の全てが市政運営に重要であり、特に有事の際においてはより大切なものと考えております。

次に、地域デビューにどれくらいの人を取り込むかではありますが、シニア世代の方々の地域デビューにつきまして

は、地域社会での市民活動やボランティア活動、生涯学習など様々な活動がありますので、できるだけ多くの方々に地域デビューをしていただきたいと思いますと考えております。

次に、医療費の長期的な低減策につきましては、効果的、効率的な事業を推進し、生活習慣病等の早期発見、早期治療及び重症化予防に取り組むことで健康的な社会を目指し、医療費の長期的な削減に努めてまいりたいと考えております。

次に、スマートシティのイメージにつきましては、現在策定を進めております基本構想でビッグデータやデジタル先端技術の活用により、市民の皆様の安全、安心と健康増進、市民主導型の効率的な行政運営の推進を柱としており、具体的な事業を計画的に位置づけて進めていくことで、「進化する佐野市」、「選ばれる佐野市」の実現にもつながるものと考えております。

次に、健康寿命を延ばす方策であります。健康づくりは毎日の積み重ねが重要でありますので、健康長寿佐野づくり推進条例の制定により、市民、事業者、地域団体及び行政がそれぞれの役割と責務を明確にし、効果的に健康づくりを推進してまいります。特に特定健康診査やがん検診受診の必要性、効果などについて広く啓発を行い、本市の受診率向上を図ってまいります。

最後に、農産物や林産物の地産地消による経済の活性化であります。地域の農産物や林産物を身近で購入できるような仕組みづくりを強化し、地域内市場の形成、拡大を図ることで、地産地消の促進につなげてまいりたいと考えております。また、市内の農産物や林産物について、消費者や市場ニーズに合致した付加価値化に取り組み、地元企業と連携した新たな商品開発や販路の拡大を図ることで、経済活性化を進めてまいります。

以上でございます。

○議長（山菅直己） 以上で市長の答弁は終了いたしました。